

参考資料2

高齢者相談センターから各日常生活圏域の特徴について聞き取りした内容

① 「ひとり暮らし」が多い理由

(谷津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・子が巣立って後、配偶者が亡くなっている。 ・URには転勤族が多い。
(秋津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・団地ができた時に入ってきた世代の子供が巣立ち、夫婦のいずれかが亡くなったというケースが多い。 ・初めから一人暮らしという人は少ない。 ・戸建てでも一人暮らしが増えている。
(津田沼・鷺沼圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドタウンであり、未婚者が多い。 ・古い民家（戸建て）が多く、配偶者が亡くなっている。
(屋敷圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・公営団地が多い（大久保、屋敷、泉町）
(東習志野圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・公営団地が多い。 ・昔ながらの家が多く、配偶者が亡くなり一人暮らしとなっている。

② 介護支援専門員から情報提供を受けた介護保険外のサービスについて。情報提供が少ないのは何故か

(谷津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・「移送サービス」「目的地への車送迎」の情報が無いのは、経済的に問題がなくタクシーを生活の足としている。 ・谷津のケアマネは地元密着の小規模事業所が多く、地域の情報に詳しい。故に公民館等の「運動・体操教室」や「趣味・サークル活動」情報を知っている。
(秋津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネによっては自費サービスの情報は回答から除外しているのではないか。 ・配食サービスの情報を把握しているケアマネの数が予想より少ない。サービスを利用しているか否か、情報を把握しているか否か、設問の受け取り方により回答が変わってくる。 ・「ゴミだし」は市の個別収集サービスがある。 ・社協が近い存在であり、社協がらみのサービスが回答に反映されている。
(津田沼・鷺沼圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネが集いの場=サロンの存在を知らない。 ・掃除、外出支援、リハビリ、これらのサービス以外は需要がない。 ・家事サービスが「そよ風サービス」しかない。他サービスがないから使えない。 ・普通ゴミ出しは戸口収集サービスがある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の配食サービスで電球の取り換えや草取り等のサービスを行う業者がいる。
(屋敷圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険のサービスで間に合っている。 ・社協サロンに需要がない。 ・ケアマネがサロン情報等を把握しておらず、介護保険のサービスに偏っている。 ・他圏域と比べ「日用品以外の買い物サービス」の情報が多いのは、大久保まで出ないとスーパーがないことが 背景にある。 ・花咲の住民は花咲地区を「陸の孤島」と呼んでいる。
(東習志野圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の支部の食事サービスは定員いっぱいでは紹介できない。また送迎が無く通うことできない。家事援助サービスが無い。 ・圏域ごとでサービスの量に大差はないのでケアマネが情報を持っていないと考えられる。 ・ボランティア、NPO 等介護保険外のサービスそのものが少ない。 ・近所の繋がりが強く、近隣住民に援助を依頼できる（東習志野、実籾） ・遠方の家族が来訪した時に窓ふき等を手伝ってもらっている。

- ③ 利用者は介護予防通所介護と介護予防訪問介護共に「自己負担もサービス内容も現状の水準でよい」との回答が圧倒的に多い。対して介護支援専門員は「安価なサービスの導入・整備」を望む傾向にある。その理由で考えられるものは何か。

(谷津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・「料金が低い」との不満は耳にしない。2割負担の抵抗もない。
(秋津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・自費サービス、社協の料金などとの比較により判断していると考えられる。 ・利用者は料金に納得してサービスを受けている。「これ以上料金が上がらなければ良い」と考えている。 ・お金の問題でサービスに繋がらないケースがあるので、ケアマネは「料金が安い方がよい」と考える。
(津田沼・鷺沼圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・今の料金体系と比較できるサービスが存在しない。 ・ケアマネは安価なサービスの方がサービス導入を勧めやすい。 ・利用者同士の口コミで「サービス内容は大差ない」との情報を得ており、「現状の水準でよい」との判断となっている。 ・「料金が低い、高い」よりもサービス中止となることの方を問題としている。
(屋敷圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は現サービスの料金を比較するものが無いので判断が不可能なため、「現状の水準でよい」という回答となっている。 ・「料金がかかる利用しない」との理由でケアマネが利用者からサービスを拒まれるケースがある。
(東習志野圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は現サービスの料金と比較できるものが無いのでイメージできていない。また説明をしても理解ができない。 ・料金を理由にサービスを拒否するケースはない。生活保護受給者が多く、自己負担が無いと考えられる。 ・介護予防のサービスは利用料金が安価であるため。

- ③ ①での利用者の意向と「現在と同じ専門職によるサービスを提供してほしい」との利用者の意向を受けて、新たな緩和型サービスの新設を目指すより既存の介護保険事業所のサービス内容の充実と人材の育成に力を注ぐべきと考えるかどうか。特にどんな内容について充実を望むか。

(谷津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護で他人の自宅に入るのも、きちんと勉強をした人の方が望ましい。 ・今後ホームヘルパーの人材が少なくなっていくことを考慮し、緩和型を増やしていく必要がある。
(秋津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス事業所は単価の安い家事援助を受けたくないと考えている。 ・専門職のいるサービスとの金額差がなければ、利用者は専門職のいるサービスを使いたいと思う。 ・介護保険サービス事業所で現行並のサービスと緩和型のサービスの両方を提供する形が望ましい。利用者が安心して使える。
(津田沼・鷺沼圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のサービスを充実させてから新しいサービスを設置していく形が望ましい。 ・既存のサービスで総合事業から手を引く事業所がでたら困る。 ・好みのものに特化したデイサービスなら需要がある。 ・女性は男性と異なり場所を選ばずどこかに行きたいと考える傾向にある。
(屋敷圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険枠に収まらないサービスの充実を望む。「見守り」サービスなど、家族が外出する際の認知症高齢者の見守り ・介護保険外の家事サービス
(東習志野圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護は生活援助なので、専門性が求められない。 ・通所介護は運動を望んでいる人が多く、専門性が求められる。 ・通所介護は看護師がいた方が、健康についての相談ができる。 ・女性は入浴と会話を楽しむ傾向にあり、男性は入浴や会話より運動を重視している。

- ⑤ 介護予防通所介護サービスを利用中でも「運動・体操教室」や「趣味・サークル活動」への参加を希望している利用者が多く存在する。

その理由で考えられるものは何か。特に圏域別で具体的にどんな活動への参加希望が多いのか。

(谷津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらの家」を紹介しても続かない。馴染めないうちに辞めてしまう。
(秋津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・男性はリハビリ等の目的が明確なサービスを好む。 ・男性はデイサービスでは達成できないニーズがある。「趣味・サークル」「運動・体操教室」では役割を担うことができる。
(津田沼・鷺沼圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・予防介護サービスは利用回数に制限があり、物足りなく感じている。 ・介護保険外のサービスは定員がいっぱいというケースがある。 ・今ある介護保険外のサービスに通うことに抵抗がある人がいる。 ・参加したいものがあったとしても送迎がないと通うことができない。
(屋敷圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・男性は本格的なリハビリを望んでいる人が多く、デイサービスのサービスには物足りなさを感じている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・男性はデイサービスに抵抗感がある。 ・女性は趣味・サークル活動を楽しむことができる。
--	--

⑥ ①③での利用者の意向を受けて、利用料金にかかわらず介護予防のサービスの数と内容の充実を目指すべきと考えるかどうか。目指すべきと考える場合、充実すべき具体的な内容とは何か。どのような内容を加えたらよいと考えるか。

(谷津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの数は多くあった方がよいが、コーディネーターが上手く機能する必要がある。 ・心肺機能の向上を目的としたコーラスや詩吟を推奨している。 ・時間帯が遅いデイサービス＝アフタヌーンデイサービス(男性に盛況)
(秋津圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・窓拭きや庭掃除はニーズが高い。 ・生活感があり、他者と日々の関わりが感じられ、社会性を培うことができる「集いの場」が提供できるとよい
(津田沼・鷺沼圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを増やすだけでなく、情報を整理・共有する必要がある。
(屋敷圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの数と内容の充実を目指すべきと考えるが、新規参入の意欲は期待できない。 ・介護保険外の家事援助サービスの充実 ・家族が用事で外出する際の見守りサービス
(東習志野圏域)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの数と内容の充実を目指すべき ・現介護予防訪問介護は45分/回であり、時間的に足りない。 ・スポット(短時間)で提供できる家事援助があるとよい。 ・デイサービスは専門家を配置する方がよい。 ・転倒予防体操と介護保険サービスの間を担うサービスの数を町内会単位で作っていききたい。

⑦屋敷圏域で身体介護のケアプランが多いのはなぜか。

(屋敷圏域)

自宅近くに買い物ができる店がないため、「買い物同行サービス」の利用者が多い。